

平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社AMBITION 上場取引所 東
 コード番号 3300 URL http://www.am-bition.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 久保田 勝 TEL 03-6439-8905
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	6,685	47.5	△48	—	△59	—	△33	—
28年6月期第2四半期	4,533	44.2	75	—	77	—	30	—

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 △41百万円 (—%) 28年6月期第2四半期 29百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	△11.23	—
28年6月期第2四半期	10.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第2四半期	3,642	697	18.8	226.50
28年6月期	3,286	747	22.7	247.48

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 684百万円 28年6月期 747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,305	50.2	230	15.0	202	8.6	121	8.0	40.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ADAM、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期2Q	3,065,000株	28年6月期	3,065,000株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	45,000株	28年6月期	45,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期2Q	3,020,000株	28年6月期2Q	3,020,000株

※平成28年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、平成28年6月期2Qの期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調にあるものの、個人消費におきましては、為替の変動や海外経済の下振れリスクが懸念される等、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産管理業界におきましては、地価上昇及び低金利政策を背景にした個人投資家等の不動産保有ニーズは依然として高く推移しており、当該保有資産の資産維持及び向上を目的としたサブリースの需要も高まりつつあります。また、不動産仲介業界においても、依然として一般消費者の消費マインドは節約志向が根強いものの、企業の人事異動に伴う転居ニーズ等があり、需要状況は改善しつつあります。

このような市場環境の中、当社グループはコア事業であるプロパティマネジメント事業における管理戸数の増加を軸に、入居率の向上の維持を支える賃貸仲介事業との連携及び中古不動産市場の活況を背景に、中古マンション再販事業を展開することで収益拡大を図ってまいりましたが、繁忙期（新入学・就職時期）に向け、管理戸数を確保したことによる売上原価の増加、その管理人員の増加及び将来に向けた管理システム投資による販売費及び一般管理費が増加しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,685,630千円（前年同期比47.5%増）、営業損失は48,433千円（前年同期は75,568千円の営業利益）、経常損失は59,787千円（前期同期は77,247千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期当期純損失は33,925千円（前期同期は30,312千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の事業状況につきましては、以下のとおりです。

（プロパティマネジメント事業）

プロパティマネジメント事業は、主に住居用不動産の賃貸借（サブリース）を行っております。当該事業については、管理物件数の増大及び高入居率の維持を基本方針として事業展開いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、管理戸数については8,029戸（前年同期末比2,024戸増）となり、入居率は88.8%となりました。

その結果、売上高は4,382,455千円（前年同期比29.6%増）、セグメント利益（営業利益）62,758千円（前年同期比71.4%減）となりました。

（賃貸仲介事業）

賃貸仲介事業は、都内12拠点及び神奈川県5拠点の計17拠点を運営し、賃貸物件の仲介事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、企業の人事異動等による一般消費者の賃貸住居の仲介ニーズを捉えた営業活動を行いました。東京圏内における競争環境は激化しております。

その結果、売上高は414,492千円（前年同期比2.1%増）、セグメント損失（営業損失）27,285千円（前年同期は、33,686千円のセグメント利益（営業利益））となりました。

（インベスト事業）

インベスト事業は、住居用不動産物件の売買及び一般顧客の不動産物件の売買仲介を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、53件の物件売却を行いました。

その結果、売上高は1,969,440千円（前年同期比143.8%増）、セグメント利益（営業利益）163,002千円（前年同期比55.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,642,456千円となり、前連結会計年度末に比べ356,453千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が934,355千円増加した一方で、販売用不動産が476,742千円減少したことによりです。

負債合計は2,944,602千円となり、前連結会計年度末に比べ406,561千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加した一方で、短期借入金が減少したことによりです。

純資産合計は697,854千円となり、前連結会計年度末に比べ50,107千円減少いたしました。これは主に、非支配株主持分が13,275千円増加した一方で、利益剰余金が62,259千円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ134,878千円減少し、1,270,049千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は444,257千円(前年同期は35,534千円の獲得)となりました。主な増加は、販売用不動産の増加496,591千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は998,720千円(前年同期は293,523千円の使用)となりました。主な増加は、定期預金の払戻による収入60,000千円であり、主な減少は、有形固定資産の取得による支出967,602千円、子会社株式の取得による支出50,000千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は411,231千円(前年同期は240,886千円の獲得)となりました。主な増加は、定期借入金による収入955,500千円であり、主な減少は、短期借入金の純増減135,250千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月12日に発表した数値から、現段階での修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する情報

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,547	1,309,424
営業未収入金	119,149	116,293
販売用不動産	928,875	452,132
その他	45,472	76,528
貸倒引当金	△17,092	△23,431
流動資産合計	2,580,952	1,930,947
固定資産		
有形固定資産	208,484	1,142,840
無形固定資産		
のれん	150,243	139,751
その他	44,221	52,775
無形固定資産合計	194,465	192,527
投資その他の資産		
その他	314,613	399,173
貸倒引当金	△17,093	△27,237
投資その他の資産合計	297,520	371,936
固定資産合計	700,469	1,707,304
繰延資産		
社債発行費	4,580	4,205
繰延資産合計	4,580	4,205
資産合計	3,286,003	3,642,456
負債の部		
流動負債		
営業未払金	65,594	63,285
短期借入金	486,560	351,310
1年内返済予定の長期借入金	140,244	187,414
未払法人税等	57,608	13,641
前受金	290,507	321,317
賞与引当金	1,800	—
その他	369,026	354,763
流動負債合計	1,411,341	1,291,732
固定負債		
社債	150,800	137,500
長期借入金	692,814	1,216,586
その他	283,085	298,783
固定負債合計	1,126,699	1,652,870
負債合計	2,538,041	2,944,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,820	179,820
資本剰余金	139,820	139,820
利益剰余金	427,554	365,295
自己株式	△1,155	△1,155
株主資本合計	746,040	683,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,361	715
為替換算調整勘定	—	△477
その他の包括利益累計額合計	1,361	237
新株予約権	560	560
非支配株主持分	—	13,275
純資産合計	747,962	697,854
負債純資産合計	3,286,003	3,642,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,533,889	6,685,630
売上原価	3,645,808	5,748,513
売上総利益	888,081	937,117
販売費及び一般管理費	812,512	985,551
営業利益又は営業損失(△)	75,568	△48,433
営業外収益		
受取利息及び配当金	438	400
受取手数料	4,391	238
助成金収入	5,000	—
雑収入	2,118	1,746
営業外収益合計	11,947	2,385
営業外費用		
支払利息	7,693	10,959
その他	2,575	2,779
営業外費用合計	10,268	13,739
経常利益又は経常損失(△)	77,247	△59,787
特別利益		
固定資産売却益	—	85
受取補償金	—	15,000
特別利益合計	—	15,085
特別損失		
固定資産売却損	—	20
減損損失	15,368	—
損害賠償金	—	2,149
特別損失合計	15,368	2,169
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,879	△46,872
法人税、住民税及び事業税	38,598	12,097
法人税等調整額	△7,031	△18,718
法人税等合計	31,567	△6,621
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,312	△40,250
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△6,324
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	30,312	△33,925

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,312	△40,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△573	△646
為替換算調整勘定	—	△477
その他の包括利益合計	△573	△1,123
四半期包括利益	29,738	△41,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,738	△35,049
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△6,324

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,879	△46,872
減価償却費	11,234	16,848
のれん償却額	10,491	10,491
減損損失	15,368	—
受取補償金	—	△15,000
損害賠償損失	—	2,149
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,289	△1,800
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,342	16,482
受取利息及び受取配当金	△438	△400
支払利息	7,693	10,959
売上債権の増減額(△は増加)	13,825	△9,273
たな卸資産の増減額(△は増加)	429	166
販売用不動産の増減額(△は増加)	△116,217	496,591
前払費用の増減額(△は増加)	10,345	—
仕入債務の増減額(△は減少)	708	△4,631
未払費用の増減額(△は減少)	△3,463	△167
前受金の増減額(△は減少)	4,642	30,810
営業預り金の増減額(△は減少)	16,479	746
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,648	△20,619
長期預り保証金の増減額(△は減少)	38,648	17,850
その他	9,038	△8,953
小計	83,070	495,380
法人税等の支払額	△40,609	△55,432
補償金の受取額	—	15,000
損害賠償金の支払額	—	△1,523
利息及び配当金の受取額	437	399
利息の支払額	△7,362	△9,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,534	444,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,500
定期預金の払戻による収入	3,599	60,000
有形固定資産の取得による支出	△14,490	△967,602
無形固定資産の取得による支出	△17,242	△7,210
投資有価証券の取得による支出	△41,177	△20,171
投資有価証券の売却による収入	—	192
子会社株式の取得による支出	△181,437	△50,000
差入保証金の差入による支出	△51,806	△62
差入保証金の回収による収入	10,702	9,381
会員権の取得による支出	—	△14,000
その他	△1,671	△6,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,523	△998,720

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	214,500	△135,250
長期借入金の返済による支出	△218,329	△384,557
長期借入れによる収入	279,295	955,500
配当金の支払額	△27,445	△29,960
社債の償還による支出	△6,300	△13,300
非支配株主からの払込みによる収入	—	19,600
その他	△833	△801
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,886	411,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	798
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,101	△142,433
現金及び現金同等物の期首残高	1,008,734	1,404,928
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	7,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	991,632	1,270,049

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	プロパティ マネジメント 事業	賃貸仲介 事業	インベスト 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,381,843	344,237	807,809	4,533,889	—	4,533,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	61,820	—	61,820	—	61,820
計	3,381,843	406,058	807,809	4,595,710	—	4,595,710
セグメント利益	219,278	33,686	105,018	357,982	—	357,982

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	357,982
全社費用(注)	△282,414
四半期連結損益計算書の営業利益	75,568

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「賃貸仲介事業」セグメントにおいて、一部店舗設備の回収可能性を判断し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,319千円であります。

また、当社は、平成27年9月30日開催の取締役会において本社移転を決議したことに伴い、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては14,048千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	プロパティ マネジメント 事業	賃貸仲介 事業	インベスト 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,382,455	331,592	1,969,440	6,683,489	2,141	6,685,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	82,899	—	82,899	28,274	111,174
計	4,382,455	414,492	1,969,440	6,766,388	30,416	6,796,804
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	62,758	△27,285	163,002	198,474	3,102	201,577

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、第1四半期連結会計期間より重要性が増したため連結の範囲に含めた、AMBITION VIETNAM CO., LTDの事業を表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	198,474
「その他」の区分の利益	3,102
全社費用(注)	△250,011
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△48,433

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、子会社である(株)VALORの管理体制をみなおしたため、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。